

資料提供

平成30年7月30日



担当課	総務企画課
担当者	丹生
電話	(073) 488-5102
内線	

3類感染症（腸管出血性大腸菌感染症）について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
患者	和歌山市内在住 70歳代 女性
届出年月日	平成30年7月30日
経過	7月23日（月）発熱、血便、下痢により受診 7月25日（水）医療機関に入院 7月30日（月）便検査の結果 O157 ベロ毒素（+）と判明 医療機関主治医より届出 現在、医療機関にて入院加療中ですが、症状は快方に向っています。

プライバシーの保護については、十分なご配慮をお願いします。

《参考 本症の発生状況》

平成30年7月30日現在

	和歌山市	和歌山県（市内含む）	備考
平成24年	4名（2名無症状者含む）	19名（7名無症状者含む）	
平成25年	10名（2名無症状者含む）	26名（11名無症状者含む）	
平成26年	6名（1名無症状者含む）	12名（2名無症状者含む）	
平成27年	3名	8名（1名無症状者含む）	
平成28年	2名	15名（8名無症状者含む）	
平成29年	5名（1名無症状者含む）	10名（2名無症状者含む）	
平成30年	1名	8名（1名無症状者含む）	本患者含む

腸管出血性大腸菌感染症は、年間を通じて発生する感染症です。食品の取り扱いや衛生管理、手洗いなどの予防に心がけましょう。特に肉の生食は控えましょう。小さい子どもさんや高齢者は、感染した場合発病しやすいので注意が必要です。腹痛・下痢などの症状がみられた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。